

平成29年度

第 1 回

**えりも町総合教育会議
議 事 録**

□と き 平成29年11月20日（月）

午後 4 時15分～午後 4 時55分

□ところ えりも町役場庁舎（2階応接室）

平成29年度第1回えりも町総合教育会議議事録

1 日 時	平成29年11月20日（月） 午後4時15分～午後4時55分
2 会 場	えりも町役場庁舎 2階応接室
3 出席者	<p>えりも町 えりも町長 大西正紀</p> <p>えりも町教育委員会 教 育 長 川 上 松 美 教育長職務代理者 嗟 峨 直 樹 委 員 西 川 一 郎 委 員 田名部 光 一 委 員 川 崎 尚 子</p>
4 欠席委員	なし
5 説明員等	<p>えりも町教育委員会教育支援課 課 長 今 野 章 課長補佐 橋 本 信 夫 ※学校管理係長兼務</p>
6 会議経過	別紙のとおり

平成29年度第1回えりも町総合教育会議 会議の概要
(ホームページ掲載用)

- 本年度の第1回目の総合教育会議は、大西正紀新町長との初めての委員会との会議となりました。
- 今回の協議は、初めての顔合わせということもあり、総合教育会議の趣旨について共通認識を図るとともに、議題を大きな2つの柱として、一つ目は「えりも町教育大綱」について、二つ目は「東洋小学校の今後と学校給食について」として話し合いが持たれました。
- まず、一つ目の「えりも町教育大綱」の話し合いでは、町長から制度を踏まえながら、まずは教育委員会として、しっかり教育行政を行ってほしいこと、最終的に何かあった場合に町が入って連携を図って進めることが大事であることなどが話されました。
- 教育長からも、町長の意向を踏まえながら、町長とも「えりも町の子どもたちのために連携を図る」という観点で連携することが話されました。
- 2点目の東洋小学校の今後については、来年度から平成36年度までの児童数の推移やそれに伴う教職員体制について説明があり、特に、平成32年度には児童数が7名となることが予想され、学校体制が大きな課題となることなどが説明されました。
- 協議では、町長から自らが過ごした目黒地区の状況を振り返りながら、子ども世代と学校に関することを積極的に支援していきたいなどの考えが話されました。また、東洋小学校の今後についても、子どものことを考えるとどうなのか、一方、地域としてどうなるのかが大きな課題となるのではないかという話がありました。
- 教育委員会からは、東洋小PTAをはじめ地域の人の声が重要であること、東洋小学校の場合は地域のこと、子どものこと、教職員のこと、地域に住んでいる子どもの状況が他の地区とは違う面もあること、目黒小・中学校の閉校にかかわるときの状況、笛舞小学校の存続にかかわるときの状況、歌別小学校の統合に関わる状況など、これまでの統合等にかかわることが出されるとともに、最終的には、子どもの親がどのように考えるかが大切であるなどが意見として出されました。
- 給食については、庶野小学校の給食とえりも高校の給食について、話し合われました。この問題について教育長は、今年3月に庶野小学校より地域上げて要望が出ていることから、来年3月までには、一定の方向性を示すことが必要であること。それまで町長と協議して検討していくことが必要であることが話されました。
- また、えりも高校の給食の実現では、他の小学校の学校給食も含めて、センター方式が良いのかななどを、今後、検討していく段階で結論を出す必要があること。参考として、提供数は庶野小は先生を含め60食、高校は120食、岬小は40食となる見込みであることが話されました。
- 教育委員会からは、高校で給食を行うとなると、大変魅力的なことになることや全生徒対象とすべきという意見がありました。
- 町長からは、産業形態上、漁業が多い町なので、全校実施で検討することが必要ではないか、また、何らかの形で子どもたちの給食の支援ができないか、庶野小が給食が実施されるまで補助を何らかの形でできないかも含めて考えていかなければならないということが話されました。